

書くというプレゼント  
長谷川耕史



響 長谷川耕史 書くというプレゼント

2022年 10月 15日 (土) ~ 11月 23日 (水・祝) ※会期中無休

開催時間 - 10:00~18:30 (最終入館 18:15) 入場無料

主催 - 品川区・S 品川文化振興事業団 会場 - ㊦ 美術館 JR線・りんかい線大崎駅  
大崎ニューシティ 2F

アーティストギャラリートーク 11/3 (木・祝)・11 (金) 会場 - 当館  
ワークショップ 11/5 (土) 会場 - 日本書鏡院

詳しくは裏面及び美術館ホームページをご覧ください



キーボードで文字を打つことが当たり前になっている今日。指や体で書いた文字…いわゆる「書」が持つすばらしさを多くの方に伝えたい…。品川区出身で現在も品川区をベースに活動している書家、長谷川耕史(はせがわこうし)。伝統的な書の世界を伝えることを基本にしながら他分野と積極的にコラボレーションし、書の世界を広げることに力を注いでいます。本展では幼少期から今までの作品を一堂に会し、書家 長谷川耕史の今の姿、そしてこれから進んでいく道を紹介します。



長谷川 耕史  
(はせがわ こうし)

書家。1971年品川生れ。  
品川区立伊藤中学校出身。  
日本書鏡院(1933年創業) 三代目会長。  
皇宮警察学校、衆議院書こう会講師。  
神戸大学・立正大学非常勤講師。  
ドラマ・映画のタイトル、相撲の化粧まわし、  
日本酒ラベルなど揮毫。  
日本書鏡院初代会長長谷川耕南の  
伝承人として邁進している。

### 長谷川 耕史からのメッセージ

#### 書くというプレゼント

煤すすは空气中を漂うだけなら、ただの炭素の微粒子ですが、  
膠にかわとまぜれば墨になります。筆があれば書が生まれます。  
五万を超える漢字、五十のかな、六つの書体。  
世界でもっとも字の豊かな国で、  
書道が生まれたことは偶然ではありません。  
千三百年以上受け継がれてきた日本語という贈り物を、  
正統な美しさで、この品川から後世に伝え続けること。  
それが、日本書鏡院の使命です。過去から現在、そして未来へ。  
今回の展覧会では、先師耕南から継承した「正統な字」が、  
私たちの約 90 年の歴史の中でどのように進化し、  
紙の枠を超えて発展してきたか、ご覧いただけます。  
一滴の墨が、一粒の種となって、大輪の花を咲かせるように。  
あなたの心に、書の美しいよろこびを届けたい。

日本書鏡院 三代目会長 長谷川 耕史

## Notice!

### ●アーティストギャラリートーク

日時 ①11月3日(木・祝) 15:00 ~ 16:00

②11月11日(金) 18:30 ~ 19:30

場所-〇美術館 定員 30人(先着/事前予約制)

参加費-無料 参加方法-美術館ホームページからお申し込みください

### ●ワークショップ

言葉には「人の心を動かす」素晴らしさがあります。心が動くその瞬間に、  
筆を使って好きな文字を書いてみませんか。

日時-11月5日(土) 14:00 ~ 15:30

会場-日本書鏡院(品川区南品川 1-2-12)

定員-10名(抽選) 対象-小中高生

参加費-無料 申込方法-美術館ホームページからお申し込みください。

締切 10月11日(火)



品川区民憲章制定 40 周年記念 品川区民芸術祭 2022 〇美術館企画展

## 響 長谷川耕史 書くというプレゼント

2022年 10月15日(土) ~ 11月23日(水・祝)

開催時間-10:00~18:30 (最終入館 18:15) 入場無料 ※会期中無休

主催-品川区・S 品川文化振興事業団

会場-〇美術館

〒141-0032 品川区大崎 1-6-2 大崎ニューシティ 2号館 2F

お問い合わせ TEL03-3495-4040 (10:00 ~ 18:30 木曜休館)

JR 山手線・埼京線・湘南新宿ライン線・りんかい線「大崎駅」(北改札口・東口)下車徒歩 2 分

東急バス(大井町駅-渋谷駅)「大崎駅」下車徒歩 2 分

HP <https://www.shinagawa-culture.or.jp/o-art/event/exhibition/2022/1015.html>



ホームページ